テレワークの	在宅 勤務	モバイル ワーク	サテライト オフィス	狙い	生産性 向上	移動時間短 縮	非常時の 事業継続	顧客満足度 向上	WLB向上	オフィス 費用削減	通勤弱者対 応	創造性 向上	優秀な人材 確保	省エネ・CO2 対策
種類	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

企業の概要

企業•団体名	KMソリューションズ栃木株式会社	本社所在地	栃木県		
業種	卸売業、小売業	総従業員数	10名		
事業概要	OA機器事業、システム事業、オフィス環境事業、セキュリティ事業、デザイン事業				

テレワーク実施概要

雇用上の規定	在宅ルールを作成・運用				
テレワーク担当部署	代表取締役				
テレワーク対象者	SI事業部、エンジニアリングの社員				
実施者数	7名				
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)				

テレワークの導入・拡大の経緯

- 起業時よりスケジュール管理や申請事項はグループウェア「サイボウズ」を導入。
- 2014年よりエンジニアリングは在宅でも業務ができるシステムをすでに構築しており、2019年よりSI事業部(営業部門)社員にモバイルノートパソコンを貸与し、スマートフォンのデザリングを利用して帰社することなく営業先でもノートパソコンやスマートフォンでモバイルワークができるよう構築。
- 新型コロナウイルス問題より以前からテレワーク&モバイルワークを実施しており、エンジニアリングは緊急のシステム修正、トラブル等を迅速に効率できる様、そしてSI事業部(営業部門)に関しては栃木県は基本自動車移動での活動なので、せっかく頂戴した営業案件をロスなく迅速に対応したいので移動先でも見積作成やメールがしたいとの意見があり採用することにした。
- 尚、勤怠時間の管理もクラウド化「勤革時」を1年前に導入。

テレワークの概要・特徴

- エンジニアリング及びSI事業部に所属する社員7名が実施対象。
- テレワークを「通常業務」と見做すことにし、エンジニアリングは申請があれば 在宅勤務を可能に、営業部はグループウェアにてスケジュールに記載すれば 直行直帰も可能とした。
- リモート接続アプリケーション選定をエンジニアが行い、安全性、機能性、導入コストから弊社では「Team Viewer」の導入を決定。信頼性も高く、多くの有名企業が利用していることもあり法人契約した。
- メインPCは社外に持ち出し等ができないようにデスクトップPCを設置、そこに Team Viewerを利用し、貸与しているノートPCからアクセスし、あくまでもデー タはデスクトップPCから社内サーバーへアクセスするシステムを構築した。
- 貸与用ノートPCのスペックを抑えることができ、軽量コンパクト化が実現。無 駄なアプリケーションを追加購入する必要もない。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 社有車の給油量の削減につながった。
- 営業の一日の行動スケジュールが組みやすくなった。
- 営業中、「緊急の案件が出ると一度帰社して提案書、見積書作成…」といった 移動ロスが無くなった。
- 営業効率があがり一日あたりのお客様訪問件数が増えた。
- エンジニアのお客様サポートが遠隔にて迅速に対応できるので、大企業メーカー等と引けを取らない対応が可能になった。
- お客様数社が弊社と同じテレワークシステムを導入したいと発注をいただき売 上向上につながった。そのお客様も弊社と同様にテレワーク実施会社となった。 今回の新型コロナの対策として大変喜ばれた。